

# 令和4年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	仁政会		
事 業 名	先進地視察	兵庫県	淡路市
	淡路パイロットHQ協議会（企業誘致） 事業について		
事 業 区 分	①研究研修	②調 査	

## 1 上田市での課題と研修・調査の目的

地域振興の重要な課題の一つは企業誘致であり、誘致した企業と長期間に連携した関係を構築しながら地域振興に生かすのかについて、人材派遣大手パソナグループの本社機能を誘致に成功した経緯や進行中の地域共同振興事業について現状および将来展望を調査・研究した。

## 2 実施概要

実施日時	視察先	兵庫県	淡路市
令和 5年 2月 7日 13:00 ~ 14:30	担当部局	企画情報部	まちづくり政策課
報 告 内 容	1 市の概要 淡路島の北部に位置し、明石海峡大橋の玄関口で本州と四国を結ぶ神戸淡路鳴門自動車道が通る交通の要所。人口43131名、線香の生産が盛んで国内の70%のシェア率を誇る。農業も盛んでビワやイチジク、淡路ビーフやカーネーション栽培が有名。		
	2 市の特徴 神戸・大阪からのアクセスの良さを生かして農業中心から観光および企業誘致に尽力している。人材派遣の最大手パソナグループの本社機能の一部移転を推進中であり、並行して2025年に開催予定の大阪万博に向けて大自然と雄大な海を生かしたリゾート観光都市を目指しておられます。また年間日照時間2204時間あり、再生可能エネルギーを最大限活用するあわじ環境未来島構想を展開、市営の大型太陽光発電所を経営、市内各所でもカーボンオフセットZEROを目指して多数の大型太陽光発電施設建設や風力発電等、地元で発電した再生可能エネルギー利用による地域新電力事業サービスなども実施するなど地域特性を生かした振興計画が確実に進捗している。		
	3 視察事項について ① パソナグループとの連携による大規模な本社機能移転の経緯 代表の南部靖之氏が近隣の神戸市出身であり、淡路島への親近感を持っていたようですが同社が2008年に農業分野への新規参入を目指したベンチャー支援を試験的に開始したご縁から、廃校になった小学校を活用した農業支援複合施設のじまスコーラを2012年に運営を支援、その後も同社との連携を強化する中でリモートワークの普及や自然災害リスク対応		

\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

感想(まとめ)・市政に活かせること	<p>BCP 体制整備や本社機能の分散によるサテライトオフィス実証実験事業を共同推進しておられます。</p> <p>② 具体的な成果状況</p> <p>パソナグループより現在 470 名の社員さんが移住され、約 1500 名以上の人口増となっている。並行して島内企業 33 社、島外企業 34 社が淡路市に拠点を置くような企業誘致に成功している。またパソナグループでは 2025 年の大阪万博を目指して淡路市内に 17 か所の新たな拠点を運営、クールジャパンに沿ったアニメキャラクター観光施設の運営など地域振興や地域課題解決に大きく貢献しています。例えば新たな工業団地（夢舞台サスティナブル・パーク）へ 7 企業を誘致し約 500 人の従業員が移住などパソナグループ以外の企業誘致にも成功されている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・雇用の創出</li><li>・従業員移住による人口増</li><li>・地域消費拡大</li><li>・空地や土地の有効活用</li><li>・税収の増加</li></ul> <p style="text-align: center;">その他沢山の好影響が顕著に表れている。</p> <p>③ 今後の連携方針や計画</p> <p>今後同グループとの連携に関する意見交換を通じて更に具体的な政策を検討する予定ですが、パソナ淡路健康島プロジェクトの名称で体と心、そして絆をコンセプトに Well-Being をテーマにしたビジネスコンテストを開催し（2022 年 11 月 1 日）、参加企業への新産業創造支援を実施中、健康をテーマにした大規模なフォーラムを継続開催しながら地域活性化と共に新しい働き方や価値観の変化に対応した生活スタイルを提案する予定。本社機能移転に対する行政との一体的な連携体制の構築を目指す。</p> <p>④ 上田市政に生かせる内容</p> <p>淡路市さんとパソナグループとの連携および大規模な地方への本社機能分散事業はなかなか他の市町村レベルでは難しいように感じたが、まずは頂いたご縁を大切に継続的に連携しながら小さな実績を積み上げるうちに加速度的に地域振興策や課題などが良い方向に循環されることを痛感した。上田市においても例えばキリングループや東急グループなど既に素晴らしいご縁を頂いていますが、現状でどのくらい本気で関係構築に関して建設的な連携提案や事業などを推進しているのかは再検討が必要だと感じました。</p> <p>地域特性を生かした政策の大切さは更に重要で、淡路市さんは暮らしの持続、エネルギーの持続、農と食の持続の 3 項目を将来目標に掲げ「生命の繋がる環境の島」</p>
-------------------	--

\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

との明確なコンセプトのもと、各種政策を確実に実施されることでそのコンセプトに共感した企業や人材が自然と集まって来られています。上田市も東京に近い、自然災害に強い、日照時間が長い（2246時間・淡路市さんより42時間長い）、自然豊かでありながら利便性の良い地域、長距離交通手段が整備されている等の様々な利点を生かした地域振興コンセプトを3つ程度に絞り込んで明確化して政策発信すべきではないかと感じました。できる範囲で確実に実績を継続して積み上げることが重要であると感じました。



農業支援拠点「のじまスコラ」



空きショッピング施設活用したシェアオフィス

感想（まとめ）・市政に活かせること



淡路市視察風景



\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

感想(まとめ)・市政に活かせること

\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと